

## 令和4年度 小・中学校教頭人権教育研修 実施要項

- 1 目的 教頭として必要な人権教育の重点課題に関して理解するとともに、人権が尊重された学校経営の在り方や人権教育を柱とした学校づくりについて考える。
- 2 対象 小・中学校、義務教育学校の教頭

## 3 内容等

回	日時	研修内容	講師等
1	オンデマンド開催 9月20日(火) ～ 10月11日(火)	大阪府における子どもたちの現状と 人権教育の方向性  日本語指導の必要な子どもたちへの 支援について  多文化共生の学校づくり －日本語指導の必要な子どもたち の教育－  〔講義・講演〕	大阪府教育庁 指導主事等  大阪府教育庁 指導主事等  京都教育大学 教授 浜田 麻里

- 4 会場 所属校等
- 5 担当室 人権教育研究室
- 6 その他 Web開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

## 令和4年度 小・中学校教頭人権教育研修 シラバス

2020

## 1 目的

教頭として必要な人権教育の重点課題に関して認識を理解するとともに、人権が尊重された学校経営の在り方や人権教育を柱とした学校づくりについて考える。

## 2 大阪府教員等育成指標の対象項目

スクールリーダースタANDARD						
	1	2	3	4	5	6
第4期(校長)						
第3期(教頭)	○	○				
第2期(首席・指導教諭)						
第1期(リーダー養成期)						

## 3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	大阪府における子どもたちの現状と人権教育の方向性	大阪府内の子どもたちの現状を踏まえ、教頭として必要な人権教育の重点課題について理解する。	子どもたちをとりまく状況、国の動向を踏まえ、大阪府がめざす人権教育の方向性や今日的課題等について講義から学ぶ。	
	日本語指導の必要な子どもたちへの教育や支援について	個別の人権をめぐる状況について学ぶことを通して、これからの人権教育の在り方や学校の役割について認識を深める。	日本語指導の必要な子どもたちの現状や学校が果たすべき役割について、講義や講演から学ぶ。	